

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月 30日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者 株式会社明治 東海工場

住 所 静岡県藤枝市小石川町4-22-1

氏 名 工場長 松本 幸泰

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 054-641-0900

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社明治 東海工場
事業場の所在地	静岡県藤枝市小石川町4-22-1
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	菓子製造
② 事業の規模	287億円
③ 従業員数	社員176名、嘱託・パート・派遣社員308名 合計484名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①の通り

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙②の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③の通り	—
	排出量	〃 t	— t
	（これまでに実施した取組） 1. 工場環境委員会（月次開催）における、各職場別産廃発生量の確認及び、削減策の検討。 2. 産廃分科会（実務担当者）の開催による、より具体的な産廃発生量削減対策の立案・実行。 3. 包装トラブルの削減、並びに製造工程の改善による不良品の削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③の通り	—
	排出量	〃 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 上記のこれまで実施した取組に加え、 1. 廃棄物の発生を極力少なくするような商品設計の本社への提案。 2. 製造段階での、廃棄物発生抑制策の更なる検討。 3. 取引業者との包装形態の検討による排出量削減。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1) 種類 ①汚泥、②動植物性残渣、③廃プラ、④紙くず、⑤廃油、⑥廃ガラス、⑦木屑、⑧金属くず 2) 取組 ①各製造現場にて、新規雇用者に対し、廃棄物の分別指導を実施。 ②工場内に、産廃排出集約箇所（リサイクルステーション）を設置し、専任担当者が製造各現場から排出された廃棄物の分別状況を確認し、不十分な場合には適宜指導を行なう。 ③各排出物に関し、可能な限り分類を徹底することによる、リサイクル率の向上。		
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記取組に加え、 ①自動分別機の導入による、動植物性残渣と包装材料（廃プラ）の分離とともなう、マテリアルリサイクル率のさらなる向上。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5450.8 t	— t
(これまでに実施した取組)			
①井戸水汲上げポンプの水位制御導入による無機汚泥発生量削減。 ②廃水負荷削減による有機汚泥発生量削減。 ③廃水原水槽スクリーン及び汲上げポンプ強化による原水槽清掃汚泥削減			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5450.8 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
①井戸水使用削減（無駄発見・改善工事検討）による無機汚泥削減 ②洗浄作業水使用削減（無駄発見・改善工事検討）による有機汚泥発生量削減			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

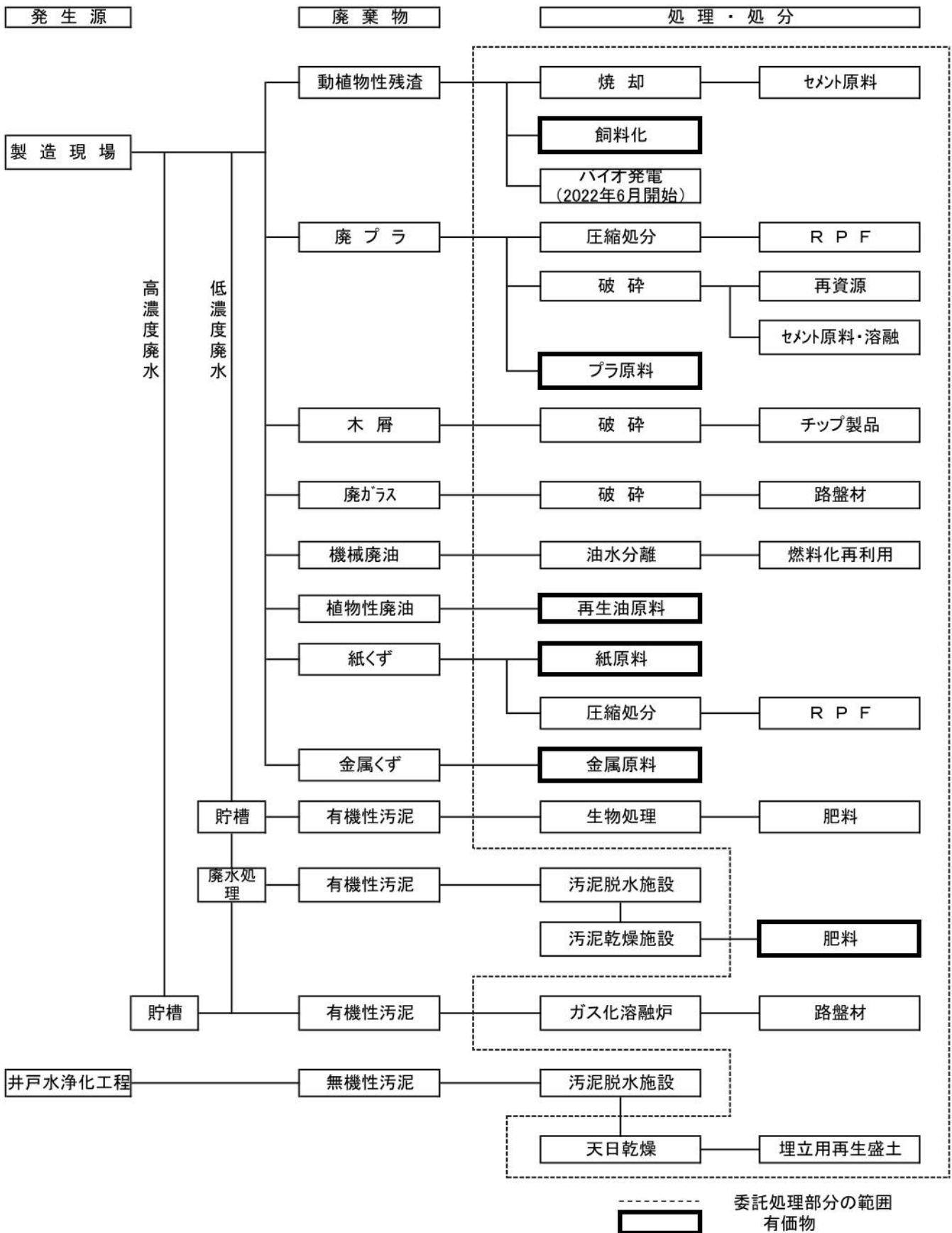
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙④の通り	—
	全処理委託量	〃 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	〃 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	〃 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	〃 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〃 t	— t
	(これまでに実施した取組)		
<p>①産廃の発生量について目標数値を定め、日々削減に努める。</p> <p>②発生した産廃については、適切な処理業者に委託し、収集運搬から処分に至るまで、的確に管理する。</p> <p>③当工場内での分別の徹底により、再生利用業者への処理委託量の比率を高めるべく、継続的な取組を実施する。</p> <p>④従来再生不可能で、熱回収業者に処理委託していた廃棄物（動植物性残渣と廃プラ）の一部について、新規業者を開拓し分別を実施することにより、継続して再生利用を可能としている。</p>			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙④の通り	—
	全処理委託量	〃 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	〃 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	〃 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	〃 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〃 t	— t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>従来が取組みに加え、「優良認定処理業者」及び「認定熱回収業者」への委託率を高めることにより、適性な産廃処理の実現に努める。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 廃棄物処理フロー



別紙② 管理体制図

統括責任者		所属：(株)明治東海工場 職・氏名：工場長 松本 幸泰
廃棄物担当		汚泥 組織名：技術部 設備環境二課 職・氏名：課長 高田 誠 その他 組織名：製造部 生産管理課 職・氏名：課長 井関 彰
役割	工場環境委員会	○産廃の発生量と排出量の管理および削減策の進捗管理 ・委員長 — 工場長 ・委員 — 各部門長 ・事務局（産廃関係） — 生産管理課
	産廃関連業務	○半期毎の産廃発生量目標の策定 ○産廃の各部署からの発生量と排出量の把握 ○処理業者、再生利用者の調査、選定及び契約先の定期査察 ○関係官庁への報告書作成
産業廃棄物管理組織		
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">中央環境委員会 委員長（明治ホールディングス 社長）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">中央環境委員会 事務局（明治HD サステナビリティ推進）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 工場環境委員会 ・工場長 ・製造部長 ・技術部長 ・品質保証課長 ・業務課長 ・製造部 各課長 ・技術部 各課長 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 工場産廃分科会 ・事務局（生産管理課） ・各製造課メンバー </div> </div>		

産業廃棄物排出量

(単位:t)

	令和3年度(2021年度)実績	令和4年度(2022年度)目標
汚泥	5536.3	5616.3
動植物性残渣	173.2	180.0
廃プラ	111.0	115.0
紙くず	11.4	10.0
廃油	1.0	1.0
廃ガラス	1.0	1.0
木屑	2.4	2.0
金属くず	0.5	1.0
合計	5836.8	5926.3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位:t

①現状	前年度 令和3年度(2021年度)実績				
	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	42.5	42.5	42.5	0.0	0.0
動植物性残渣	173.2	60.0	173.2	0.0	0.0
廃プラ	111.0	111.0	106.9	0.0	0.0
紙くず	11.4	11.4	11.4	0.0	0.0
廃油	1.0	0.1	0.0	0.0	0.2
廃ガラス	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0
木屑	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
金属くず	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
合計	343.0	225.5	337.4	0.0	0.2

単位:t

②計画	今年度 令和4年度(2022年度)目標				
	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	122.5	42.5	122.5	0.0	0.0
動植物性残渣	180.0	62.0	180.0	0.0	0.0
廃プラ	115.0	115.0	110.0	0.0	0.0
紙くず	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0
廃油	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0
廃ガラス	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0
木屑	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0
金属くず	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
合計	432.5	230.5	425.5	0.0	1.0